



WEEKLY REPORT

No. 1442

<本年度クラブ会長方針>

家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 杉本 忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

インスピレーションになろう

<2018-19年度R.I.テーマ> R.I.会長 パリー・ラシン

第1684回例会

経済と地域社会の発展両輪 / 米山月間

平成30年10月18日(木)

米山卓話

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 57名

46名中34名出席 出席率73・91%

前々回出席率86・67%

例会プログラム

★春日井クラブ奉仕委員長

・若原ひろこ名古屋寄席案内

★内藤R財団・米山記念奨励学委員長

・R財団月間米山月間 寄付のお願い

★林親睦活動委員長

・家族忘年会案内

★米山奨励学卓話

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

米山奨励学

谷 金榜

ニコボックス

内藤さん「大黒屋仏壇店」創業

100周年おめでとうございます。

谷さんの卓話よろしくお願ひします。

会社が創業100周年を迎えます

松本 哲朗

た。これも皆様のおかげです。ありがとうございました。

内藤 明

谷さん、今日は卓話よろしくお願ひします。

杉本 忠夫

内藤さん100周年おめでとうございませう。谷さんの卓話たのしみです。

堀江 英弥

内藤さん創業100周年おめでとうございます。

横井 衛・吉田 明夫

吉田 憲一・田崎 雅三

鬼頭 茂成・岡村 隆徳

加藤巴千彦・春日井和良

林 順治・大上 晃延

結婚記念月です。

杉浦 令淑

妻の誕生日です。

山口 正孝

10月6人の息子達の誕生日です。

川合 美幸

妻の誕生日です。

横川 誠人

会長挨拶

「台風委員会」

内藤さん、大黒屋仏壇店さんの

創業100周年おめでとうござい

ます。また記念品をありがとうございました。

台風の数としては例年並みです

が、今年は本州に上陸する台風が

多かったので当たり年と言われま

す。発生源がインド洋に移動して

いますので、今月初めの25号

で終わりのようです。



台風委員 会、ちよ っとユー モラスな 名前です が国連の 中の専門 機関で世 界気象機 関 (World Meteorological Organization) WMO(ワシントン)が共同で1968年に設立した委員会です。台風の情報集めと被害対策が任務です。設立当初は中国、香港、日本、ラオス、フィリピン、韓国、タイの7か国で、その後カンボジア、マレーシア、ベトナム、マカオ、北朝鮮、シンガポール、アメリカが加わって14か国で構成しています。7月の終わりに発生した台風12号は通常コースとは反対に本州を東から西へ逆走して話題となりましたが、「ジョンタリ」と名前が付けられ北朝鮮が命名したと

おりました。

アメリカのハリケーンは元々アルファベット順に人名が付けられていますが、現在の台風も全部名前が付けられています。先ほどの14の国が10個ずつその国の言葉で名前を持ち寄り、順番に10周します。リストができており、台風が発生すると順番につけることになっています。リストの最後まで行くと頭に戻るようになっており、年間20から25個発生しますので、年弱で一周します。

日本が提供したのはテンゲン、ヤギ、カシキ、ウサギ、クジラですが、何かと一つと地味な星座の名前です。12号のジョンタリはハングルでバリの意味です。

平成12年から名前が付くようになったのですが、各国それぞれの言葉なので意味が分かちがたく、マスコミも名前では呼ばないので浸透しません。ちなみに台湾も台風の被害が多いところですが、国連を脱退しており、台風委員会にも入っていません。番名ではなく独自の中国語名で呼んでいます。

やはり番名のほうがわかりやすいと思いますが、名前もあることを覚えておいてください。





一. はじめに

故郷は人間の根だといえます。中国では「一方水土養一方人」(一方の気候風土はそれなりの人間を育てる)という諺があります。したがって、同じ国の人間でも地域によってさまざまな相違性を呈しています。

「故郷」という言葉に対して、「実家」という言葉があります。『北國の春』のセリフ「あの故郷へ帰るかな」と魯迅(1881~1936)の小説『故郷』への理解と吟味を通して、生まれ育った土地は故郷であり、今住んでいる所(都会)は実家ではないでしょうか? 例えば、私の場合なら、実家は家族が住んでいる河南省・鄭州市で、故郷は河南省・周口市のある小さい村となります。

私は大学に入る前、ずっと故郷

に住んでおり、大都会に行ったことがありませんでした。来日した後、一時帰国した四回の中で、前三回は一泊二日くらいで故郷に戻っていません。しかし、身体が故郷から離れていても、心は永遠に故郷にあると考えられます。私の故郷である周口市に関する思い出はたくさんあります。それに対して、鄭州市は、家族が故郷を離れてから、マンションを借りて住んでいる二つの家だと考えます。両親は一年中、主に鄭州に住んでおり、たまに故郷に戻る、というようにしています。今日の卓話では周口市の思い出、鄭州市を巡って中国の衣食住を報告いたします。

二. 故郷の思い出

家族紹介:

私の家族は父、母、妹、弟、私の五人によって構成されています。父は建築工事に関する仕事に就き、母は専業主婦です。

十数年前、父は出稼ぎ労働者で



して、鄭州という都会に行き、自分の能力と人脈を用い、家族のために道を広げました。母は鄭州に来る前、農作業をしすぎて、関節炎、不眠症、皮膚のアレルギーなどの病気になりました。今はほとんど家事しかできません。妹は大学を卒業した後、鄭州にある病院に就職し、事務員として働いています。弟は大学を卒業した後、自分の意志で軍隊に入り、のち軍事学院に入学しました。中国は一人っ子政策を実行しましたが、農村ではそんなに厳しくなかったため、二人もしくは三人の兄弟姉妹も珍しくありません。毎日、隣の子たちと一緒に登校したり、遊んだりするので、都会の子より幸せな、楽しい子供時代を送ったと思います。

桃の果樹園:

母の実家は農作物ではなく、多くの果物(主に桃とリンゴ)を作っていました。母が嫁いでから、父は空いている土地を利用して桃の果樹園を作りました。一人っ子政策を守っているようにみせるため、両親は私を母の実家に預けたこともありました。幼稚園に入る前に、故郷に戻った時、果樹園に桃の花が咲いて、たくさんのお実が出ていて、とてもきれいでした。それから毎年、桃の旬になると、果樹園は私の楽園となりました。両親は畑で働いていましたが、私



は多くの仲間と一緒に桃を食べたり、わらわ歌を歌ったりして、楽しい時間を過ごしました。しかし、3、4年の後、父は果樹園の面倒を見切れなくなり、桃の木を全部切り倒してしまい、のちに家庭菜園を作りました。今は草が生え荒れている状態です。

故郷の川:

故郷には名前のない川が流れています。子供時代、この川は水がきれいでした。季節によって、増水期と減水期があり、洗濯も水泳もできました。川の中にはフナ、草魚、鯉魚、泥鰌など多種類の淡水魚がいるので、父は隣人と協力して、大きな網を張って、毎回でも多くの魚を捕りました。あとで、捕った魚を人数によって分けました。母は大いに腕力を発揮し、魚鍋、魚の醬油煮込み、魚のスープ、魚の揚げ物などの魚料理を作ってくれました。父は厳しくて、子供が川のほとりで遊ぶこと、川の中を

泳ぐことを禁止しました。私はひそかに何人かの仲間と一緒に、川の浅いところを泳いだことがあります。また、年上の仲間が教えてくれて、水泳ができるようになった。川の深いところを泳いでみたとき、溺れて危うく死んでしまいそうになりましたが、水泳が得意な年上の仲間には救われました。今でもこのことを父に話していません。記憶の中の川には橋が架かっていますが、今はどうなのか分かりません。この川は水が汚れ、魚がいなくなり、昔日のような活気はなくなりました。今は一年中、涸れている時期が多いのです。

墓参り:

父方も母方も、お祖父さんとお祖母さんが他界したので、毎回帰郷するとき、家族は必ず墓参りをします。中国では今になっても、厳しく全国の農村で火葬を実施していないので、「入土為安」(埋葬すれば極楽往生を遂げる)を信じる人は死んだ肉親を土葬にします。墓たけを建てる人もいるし、墓の前に墓碑を立て、墓碑銘を作る人もいます。



墓参のをするとき、花とかを用意せず、死者を祭る紙銭を焼きます。しかし、都会では土地がないので一般的に火葬を行います。

父はこんな忙しなくても、お正月(旧暦1月1日)、清明節(4月5日)、中元節(旧暦7月15日)、中秋節(旧暦8月15日)などになると、車を運転して故郷に帰ります。

三、中国の衣食住

衣服:

河南省は春夏秋冬がはっきりしているのに、季節によって、服装が変わります。これは日本の中部(愛知・岐阜・静岡など)とはほぼ一致しています。でも、日本とは異なるところが多いです。サラリーマンの場合なら、日本人は大抵スーツを着て通勤しますが、中国人はスーツを着ない人が多いようです。学生の場合なら、日本の学校は幼稚園から高校まで学生の帽子、カバン、制服などを統一させますが、中国は服が自由で、学生服が無い学校が多いです。若者の場合なら、衣装だけをみれば、中韓の若者の違いが分かるようになります。馬子にも衣装という諺があります。近年、韓流と日本の影響で、化粧しているおしゃれな男性が多くなったようです。「小鲜肉」(若く、カッコよく、筋肉のある男性。主に俳優を指して

用いる言葉。)という流行語があります。

飲食:

河南省は内陸で、中国の北方に属するので、小麦粉を主材料とするマントウ、パオツ、麺類、水ギョーザ、お菓子などが多いです。河南省の最も有名な郷土料理はカイ麵(カイメン)と胡辣湯(フー



ラータン)です。北西部(蘭州・西安)のラーメンとは違い、カイメンは、麵が手作りで歯ごたえがいい一方スープは豚・牛の骨を長い時間煮だしたもので、香りがいいです。フーラータンの歴史は宋の時代から始まったといま

す。宋の都である東京(こうけい)は今の河南省の開封市です。

フーラータンの作り方は複雑で、香辛料の量と火の強弱が決め手なので、店によってその味が異なります。フーラータンは朝ご飯として提供されて、マントウ、肉まん、揚げパン、焼き小籠包などと一緒に食べれば美味しいです。実は、河南省の飲食は多種多様で、マクドナルド、スターキの店、スターバックスなどもあり、若者に人気です。しかし、河南省では、外国人が経営する外国料理の店はあまり見ることがないです。

住宅:

河南省はまだ発展中なので、住宅団地と工業団地の工事があちこち見られます。農村の発展は少し遅いので、農村の若い労働力が出稼ぎになり、都会の人口が増えています。また、大学生は卒業した後、一般的に都会(例えば北京・上海・広州など)を選んで会社に入ります。多くの住宅団地が建て



られました。住宅価格は年々高騰しているので、中産階級でもマイホームを買うのはなかなか難しいです。私の家族は以前、鄭州市の村に住んでいましたが、5年前から、ある団地のマンションを借りて、ずっとここに住んでいます。中国の都会では、一戸建てがあまりなくて、このような住宅団地が非常に多いです。私は将来、故郷できれいな一戸建てを作りたいと思います。

交通手段:

実は、衣食住以外に、交通手段も重要です。中国語で「衣食住行」と言います。普通の交通手段と言ったら、日本は自転車に乗る人が多いのに対して、中国はオートバイに乗る人が多いです。今は共有型自転車も普及しており、使いやすい交通手段の一つになりました。使ったとき、携帯でその自転車に付いているQRコード



を確認すると、すぐ乗れるようになります。

2013年の年末、鄭州市では地下鉄の1号線の運行が始まりました。今は2号線と城外線の運行が始まり、ほかの路線が建設されているようです。

2016年に帰国したとき、私は一人で高速電車に乗って、5日ぐらいで湖北省、浙江省へ旅行に行きました。中国の高速電車は大体、日本の新幹線と同じく、速くて便利な乗り物です。今年は上海で飛行機の



乗りの換えをするため、リニアモーターカーに乗りました。最高時速が300km/hなので、普通電車で30分もかかる距離は8分で済みました。

四 おわりに

以上のように、パワーポイントを使いながら、故郷の思い出と中国の衣食住について報告させていただきました。特に、故郷に関してまだいろいろ話したいのですが、時間の制限で、ここで終わらせていただきます。



ていただきありがとうございます。私の報告を通して、皆さまの中国への理解や興味に何らかの役に立てば、幸いです。ご清聴ありがとうございました。

2018年度米山奨学生

谷 金榜 (コウ・キンポウ)
 生年月日: 1990年5月25日
 国籍: 中華人民共和国
 出生地: 河南省
 在籍: 名古屋大学国際言語文化研究科

米山奨学生カウンセラー

岩崎 征一



若狭くわんこ名古屋寄席案内 クラブ奉仕委員長 春日井和良



田中作次氏が日本人として3人目のR1会長を務めた12・13年度国際ロータリーは、ベルリン、ホノ



2018/10/22撮影

ルル、広島、京都の3都市で「ロータリー世界平和フォーラム」を開催しました。これを記念して、平和への想いを未来へ伝え残すことを目的に、広島被ばく樹木植樹の募集があり、名古屋大須RCもこれに賛同しました。

植樹する場所として、大須観音・岡部快園さんにご協力をいただき、2013年11月22日、本堂西側の境内に、被ばく樹木イチヨウの苗が植樹されました。まもなく5年目を迎えます。

この事業は継続した管理を目指しており、名古屋大須RCでは社会奉仕委員会が、毎年成長とその様子を「ロータリー世界平和フォーラム広島」ホスト委員会へ報告しております。

今年度は10月22日着々と成長する様子を確認してまいりましたので、会員の皆様へご報告いたします。機会がありましたら是非お立ち寄りいただき、原爆の生存者として生き残り、新しい芽を吹き静かに生き続ける被ばく樹木の平和へのメッセージを受け取って下さい。

その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

2018年10月3日

「世界ポリオデーイベントをライプストリーミングで観よう」

今年のロータリーの世界ポリオデーイベントは、10月24日に米国フィラデルフィアで開催されます。とはいっても、わざわざフィラデルフィアに足を運び必要はありません。フィラデルフィア現地時間の午後6時半から(日本時間の25日午前7時半から)、お使いのパソコンやスマートフォンでライプストリーミング(ネット中継)でご覧いただけます。イベントの録画も後日 endpolio.org/ja から視聴いただけます。

今年のライプストリーミングは日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の同時通訳つきでご視聴いただけます。イベントの会場は、アメリカ医学発祥の場所と言われる College of Physicians of Philadelphia。米国で最も古い医学系団体でもあります。

イベントでは、世界保健の専門家やロータリーのポリオ撲滅大使を務める有名人らが、ポリオのない世界に向けた目覚ましい進展について語ります。ロータリーのVR(バーチャリアリティ)動画の最新作「Two Drops of Patience」で主役を務めるヘイシエンス・ア

シムウエさんによる本作品の紹介のほか、ロータリーによるドキュメンタリー「Drop to Zero」(ゼロになるまで)の一部映像が初公開されます。Time誌のシニア編集者であるシエフリー・クルーガー氏は、ポリオ撲滅活動の取材でロータリーとともにナイジェリアに赴いたときの経験を語ります。さらに、今年30周年を迎える世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)の祝賀も行われます。

(国際ロータリーHPより)

11月1日(木)例会の案内 SPEAK OUT DAY

11月8日(木)例会の案内
例会変更 11月11日(日)

地区大会 第2日目

於 蒲都市民会館

地区大会 於 蒲都市民会館他
11月10日(土)~11日(日)

大会第1日目

本会議: 受付9時30分
開会10時00分 閉会11時30分

青少年・学友フォーラム

受付12時15分
開会12時45分 閉会16時30分

大会第2日目

本会議: 受付9時30分
開会10時00分 閉会16時00分

公共イメージ向上委員会

前田 隆久・杉浦 令淑
川畑 博敬・竹林 正人

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。